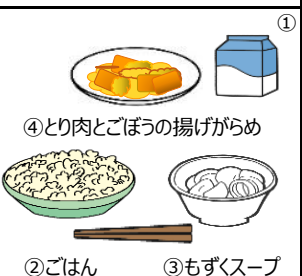
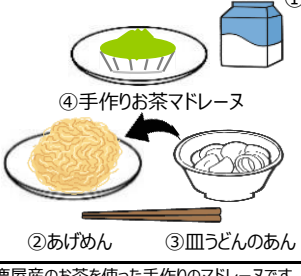
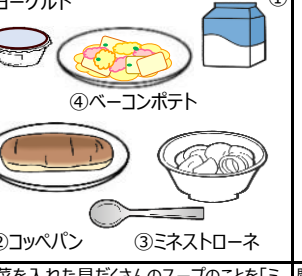


5月分給食予定献立表

鹿屋市立南部学校給食センター

※ 材料、天候、その他の都合により献立の変更をすることがあります。

日(曜)	20日(月)	21日(火)	22日(水)	23日(木)	24日(金)
こんだてめい					
今日の献立について	鹿児島特産の「つば漬け」を使ったサラダです。つば漬けは、竹で組んだ「大根やぐら」で、冬の冷たい乾いた風と天日に干した寒干し大根を、かめ壺(つば)に漬け込んだ漬物で、500年以上の歴史があります。	もずくは、他の海藻にくっついて成長することから「藻に付く」という意味で「藻付く」と呼ばれるようになったといわれています。ぬるぬるとした食感は「フコイダン」といわれる食物せんいで、体内に侵入してきた細菌やウイルスをやっつけてくれます。	「カシューナッツ」の原産地は、南アメリカ大陸北部や西インド諸島のあたりです。8～15メートルになる木の種子で、果肉はカシューアップルといいます。今日は小魚といっしょによくかんでいただきます。	カレーの本場は、インドです。インドにはカレー粉はありません。それぞれの家庭でいろいろなスパイスを使って好みのカレーを作ります。日本のカレーのようにとろみはなく、さらさらとしています。	「ビビンバ」は、正しくは「ビビンバブ」と発音するそうです。「ビビン」は「混ぜる」、「バブ」は「ごはん」という意味で「まぜごはん」のことです。韓国では、さじでよく混ぜてからいただきます。みなさんものはの上にのせて、たべてくださいね。
おもに体をつくるものになる食品	1群 ③ぶた肉 厚揚げ 2群 ①牛乳 ④わかめ	③豆腐 たまご ④とり肉 ①牛乳 ③もずく	③ぶた肉 ③④大豆 ①牛乳 ④煮干し ⑤脱脂粉乳	③とり肉 ①牛乳 ③脱脂粉乳 チーズ	③ハム ④ぶた肉 たまご ①牛乳
おもに体の調子を整えるものになる食品	3群 ③④にんじん 4群 ③キャベツ たけのこ 干しいたけ えだまめ ④つば漬け きゅうり	③にんじん 葉ねぎ ③えのきたけ ④ごぼう	③チンゲンサイ にんじん ③根深ねぎ たまねぎ もやし たけのこ 干しいたけ にんにく しょうが ⑤レーズン	③④にんじん ③たまねぎ しめじ えだまめ ブルーン にんにく ④きゅうり キャベツ なつみかん	③チンゲンサイ ③④にんじん ④ほうれん草 ③たまねぎ もやし きくらげ ④大豆もやし 白菜(キムチ) しょうが にんにく
おもにエネルギーのもとになる食品	5群 ②米 ③でんぷん ③④さとう 6群 ③油 ③④ごま油 ④ごま	②米 ③④でんぷん ④さとう ④油 ごま	②コッペパン ③クイツィオ ④⑤さとう ③ごま ③④⑤油 ④カシューナッツ	②米 ③じゃがいも ④さとう ③④油	②米 ③春雨 ④さとう ③油 ③④ごま油 ④ごま
その他調味料	③塩 中華スープ 酒 ③④しょうゆ ④米酢	③かつお節(だし) ③④しょうゆ 酒 塩 ④みりん	③とりがらスープ トウバンジャン ③④しょうゆ 酒 ③⑤塩	③アレルゲンフリーカレー カレー粉 オールスパイス ワイン ケチャップ ソース ③④塩 こしょう ④米酢 しょうゆ	③とりがらスープ 中華スープ 塩 こしょう ③④しょうゆ
栄養価	小学生 577 kcal 23.1 g 2.4 g 中学生 711 kcal 28.0 g 3.1 g	小学生 625 kcal 24.9 g 1.9 g 中学生 771 kcal 30.3 g 2.6 g	小学生 609 kcal 28.3 g 2.3 g 中学生 730 kcal 34.6 g 3.2 g	小学生 609 kcal 20.5 g 2.0 g 中学生 752 kcal 24.6 g 2.6 g	小学生 582 kcal 24.7 g 2.5 g 中学生 717 kcal 30.2 g 3.6 g
家庭でとってほしい食品	魚 卵 豆 乳製品 小魚 果物 いも類	魚 豆 乳製品 小魚 緑黄色野菜 その他の野菜 果物 いも類	魚 卵 豆製品 海そう 緑黄色野菜 その他の野菜 いも類	魚 卵 豆 豆製品 小魚 海そう 緑黄色野菜 きのこと類 種実類	魚 豆 豆製品 乳製品 小魚 海そう 果物 いも類

日(曜)	27日(月)	28日(火)	29日(水)	30日(木)	31日(金)
こんだてめい					
今日の献立について	鹿屋産のお茶を使った手作りのマドレーヌです。マドレーヌの生地の中に細かく挽いたお茶の粉を混ぜています。今日は、2000個ものマドレーヌを一生懸命作りますので、お茶の色と香りを楽しみながら食べてくださいね。	さばは、日本の海に生息する魚で、春から夏にかけて北上し、秋から冬にかけては南下します。移動するときは、海の水面近くを群れて泳ぎます。日本では、昔からよく食べられてきた馴染みの深い魚です。	野菜を入れた具だくさんのスープのことを「ミネストローネ」といい、イタリアでは古くから家庭料理として食べられてきました。使われる食材は、家庭や季節によって違います。日本人にとってのみそ汁のような食べ物です。	鹿児島県は、お茶の生産量・栽培面積ともに、全国で第2位です。鹿児島県の温暖な気候は、お茶の栽培に向いています。私たちの住んでいる鹿屋市でもお茶の栽培がさかんです。今日は、お茶入りのふりかけを作ったので、ごはんといっしょに食べてください。	きびなごはいわしの仲間で、鹿児島県を代表する魚です。「きび」とは鹿児島弁で「帯」、「なご」は「小魚」のことを意味します。体に銀色の帯がある小魚であることから「きびなご」とよばれるようになりました。
おもに体をつくるものになる食品	1群 ③ぶた肉 イカ ちくわ ④たまご 2群 ①牛乳	③とり肉 豆腐 ④さば みそ ①牛乳	③④ベーコン ①牛乳 ④チーズ ⑤ヨーグルト	③とり肉 厚揚げ ①牛乳 ④ちりめんじゃこ 昆布	③ぶた肉 厚揚げ みそ ①牛乳 ④きびなご
おもに体の調子を整えるものになる食品	3群 ③にんじん 葉ねぎ ④せん茶 4群 ③たまねぎ もやし キクラゲ 干しいたけ キャベツ しょうが	③にんじん 葉ねぎ ③だいこん えのきたけ 干しいたけ	③にんじん トマト 小松菜 ④パセリ ③セロリ マッシュルーム キャベツ ③④たまねぎ ④コーン	③にんじん ④小松菜 ③ごぼう だいこん ごんにゃく 干しいたけ ④せん茶	③にんじん 葉ねぎ ③だいこん えのきたけ ごぼう 白菜(キムチ) しょうが
おもにエネルギーのもとになる食品	5群 ②あげめん ③でんぷん ④小麦粉 ③④さとう 6群 ③ごま油 ④無塩バター	②米 ③じゃがいも でんぷん ④さとう 米粉 ③ごま油	②コッペパン ③マカロニ ④じゃがいも ③オリーブオイル マーガリン(乳不使用)	②米 ③じゃがいも さとう ③④油 ④ごま	②米 ③じゃがいも ④でんぷん さとう ③④油 ④ごま
その他調味料	③とりがらスープ 中華スープ 酒 ソース 塩 こしょう しょうゆ ④ベーキングパウダー	③かつお節・昆布(だし) 塩 ③しょうゆ ④みりん	③チキンアイソ 塩 ワイン しょうゆ ③④コンソメ こしょう	③かつお節(だし) みりん 酒 ③④しょうゆ ④塩	③かつお節(だし) ③④しょうゆ みりん ④酒
栄養価	小学生 648 kcal 24.4 g 2.0 g 中学生 806 kcal 29.6 g 2.4 g	小学生 655 kcal 29.8 g 2.0 g 中学生 759 kcal 33.2 g 2.6 g	小学生 597 kcal 23.2 g 2.4 g 中学生 727 kcal 27.4 g 3.3 g	小学生 588 kcal 25.9 g 2.3 g 中学生 724 kcal 31.5 g 3.0 g	小学生 611 kcal 25.5 g 2.4 g 中学生 753 kcal 31.3 g 3.2 g
家庭でとってほしい食品	豆 豆製品 乳製品 小魚 海そう 緑黄色野菜 果物 いも類 種実類	卵 豆 乳製品 小魚 海そう 果物 緑黄色野菜 その他の野菜 種実類	魚 卵 豆 豆製品 小魚 海そう 果物 種実類	魚 卵 豆 乳製品 果物	魚 卵 豆 乳製品 海そう 緑黄色野菜 その他の野菜

※今月のデザート等の納品日、品名、納入業者、後片づけについては、下表のとおりです。(検収をよろしくお願いいたします。)

日(曜)	品名	納入業者	後片付け	日(曜)	品名	納入業者	後片付け
1(水)	かしわもち	業者	学校で処分	27(月)	皿うどん	業者	学校で処分
2(木)	しそ味ひじき	給食センター	学校で処分		マドレーヌのカップ	給食センター	入ってきた食缶の中
16(木)	おむすびころんちよ	給食センター	学校で処分	28(火)	ホイル焼きのホイル	給食センター	入ってきた食缶の中
17(金)	パテキャラメル	給食センター	学校で処分	29(水)	ヨーグルト	業者	業者回収
22(水)	レーズンクリーム	給食センター	学校で処分				

給食だより

鹿屋市立南部学校給食センター
令和6年 5月号

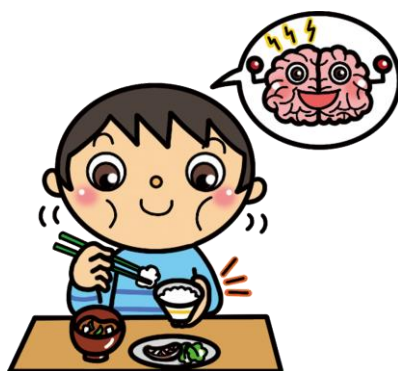


新学期の給食が始まって1ヵ月がたちました。小学1年生も学校給食に慣れてきた頃でしょうか。

さて、成長期にある子どもたちにとって、「朝ごはん」は元気に1日をスタートさせる上でとても大切な食事です。「主食」「主菜」「副菜」をそろえて食べるなど、内容にも気をつけ、しっかり食べてから登校するようにしましょう。

主食をしっかり食べて脳をイキイキさせよう!

ご飯やパンなど主食となる穀物に多く含まれる「でんぷん」は炭水化物の一種で、体内で分解されてブドウ糖になります。でんぷんは砂糖とは異なり、吸収がゆるやかで、体への負担もより少なくなります。このブドウ糖ですが、体だけでなく、脳のエネルギー源にもなります。ただ、体にためておけるブドウ糖の量は限られており、食事によってしっかり補っていかねばなりません。寝ている間も体はエネルギーを使うため、朝ごはんをしっかり食べてエネルギーを補給し、1日を元気にスタートさせる習慣を身に付けていきましょう。



朝ごはんをしっかり食べると…

さえわたる頭脳!



脳を働かせるエネルギー源となり、勉強によく集中できます。

体に元気をチャージ!



元気に体を動かせます。集中力も高まり、けがの予防につながります。

心もウオームアップ!



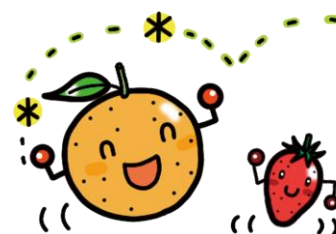
生活リズムが整い、食卓を囲んで1日を明るくスタートできます。

朝ごはんはんにプラス! くだものと牛乳・乳製品

「朝のくだものは金」といわれます。体の調子を整えるビタミン類やミネラル(無機質)を含み、エネルギー源にもなるくだものは、朝ごはん食べてこそ真価が発揮されるという意味です。また牛乳・乳製品はカルシウム源として丈夫な骨づくりに役立つだけでなく、いろいろな栄養素をバランスよく含み、食事全体の質を高めます。どちらも朝食の頼もしいパートナーです。

くだものと牛乳・乳製品のよさ

フレッシュな 栄養素がとれる!



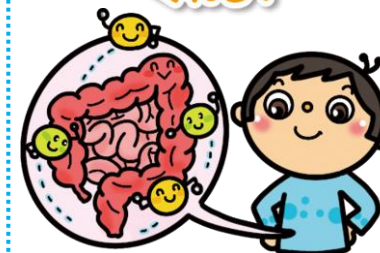
ビタミンには熱に弱いものや水に溶けて流れてしまいやすいものがあります。生で食べられるくだものは、そうした栄養素をむだなくとることができます。

とても手軽で 簡単に食べられる!



くだものは、「皮をむく」「半分に切る」などしてすぐ食べられます。そして牛乳やチーズ、ヨーグルトも特別な調理は要らず、気軽に食べることができます。

腸を元気にして くれる!



くだものには食物繊維が多く、ヨーグルトなどの発酵食品には腸内環境を整える善玉菌があります。どちらも腸を元気にしてくれる強い味方です。

“旬”をキャッチしよう!

冷蔵庫や冷凍庫、大型トラックや高速道路などの輸送手段がなかった昔、人々はその季節に身近にとれるものを中心に食べて暮らしていました。食べ物で季節の変化を感じ、またそれを楽しんでいました。

自然な状態で育った食べ物が、最も多くとれたり、最もおいしくなる時期を「旬」といいます。春から初夏にかけては、たけのこや山菜、新たまねぎなどの野菜、初がお、あじ、あさりなどの魚介類、新茶、びわ、さくらんぼといったように、この時期にしか食べられないものが次々に登場します。ぜひ食卓でも旬をキャッチし、季節を食事や食べ物から味わう楽しさを子どもたちに伝えてあげてください。

